

びろっぱ

Vol. 469 2025. 8

表紙の写真

薬剤タワー並びに空中通路
起工式

〈入江理事長プロジェクト〉

動画作成プロジェクト

高知マンモグラフィ技術講習会 開催

乳腺センター初の試み

～新シリーズ～ 近森会グループ 災害対策！

入江理事長の

Project

近森会の今後の新しい
プロジェクトについて、順次ひろっぱでお知らせします。

プロジェクト



社会医療法人近森会 理事長
入江 博之 いりえ ひろゆき

プロジェクト 8

動画作成 プロジェクト

なぜ今、動画なのか

最近、特に若い世代の皆さんが情報を得る手段が大きく変わってきていることを、私も肌で感じています。YouTubeやSNSで学び、理解を深める時代になりました。一方で、私たち医療の現場では、まだまだ紙のマニュアルが主流です。

正直に申し上げますと、せっかく作った分厚いマニュアルが十分に活用されていない現実があります。特に新人の皆さんにとって、文字だけの説明では読むのがおっくうで、理解が難しい場面も多いのです。

動画で変わる学びの形

動画には素晴らしい力があります。目で見て、耳で聞いて、まるで隣で先輩が教えてくれているような体験ができる。手技や処置の流れも、一目瞭然です。何より、自分のペースで、必要な時に、何度でも確認できるのが魅力です。

私たちは既に一部の診療部門で、患者さんやご家族への説明動画を作成し、大変好評をいただいています。この成功体験をより多くの部門に適用し、また内部教育にも活かしたいと考えています。

AIと人の知恵を融合して

このプロジェクトでは、最新のAI技術も積極的に取り入れます。しかし、AIだけに頼るのではありません。私たちの現場で



病室で手術の説明動画を視聴する患者さんとそのご家族

培ってきた知識と経験、そして何より皆さんの「現場の声」を大切にしながら、実写撮影も組み合わせた、本当に役立つ動画を作り上げていきます。

もちろん、紙のマニュアルも引き続き重要です。動画と紙、それぞれの良さを活かした「ハイブリッド」な学習環境を目指します。

皆さんと一緒に歩んでいきたい

この取り組みは、一朝一夕には完成しません。各部門からの代表による説明動画作成委員会を立ち上げ、皆さんからのフィードバックをいただきながら、少しずつ、しかし着実に進めてまいります。

患者さんやご家族が病気の説明・検査・治療を十分に理解された上で受けられる環境を作ること。職員の皆さんが業務の要点をより効率的に、より楽しく学べる環境を作ること。そして、それが最終的に患者さんにより良い医療を提供することにつながる。そんな医療機関を、皆さんと一緒に実現していきたいと思っています。

〈原文案〉理事長補佐 平野 友紀 ひらの ゆき

Canvaを使用した 動画マニュアルの作成方法

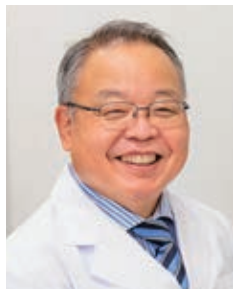
動画マニュアル作成プロジェクト

近森会グループスタッフ限定公開

「Canvaを使用した動画マニュアルの作成方法」の視聴方法は院内電子掲示板にて案内します。

高知マンモグラフィ技術講習会 開催

乳腺センター
初の試み



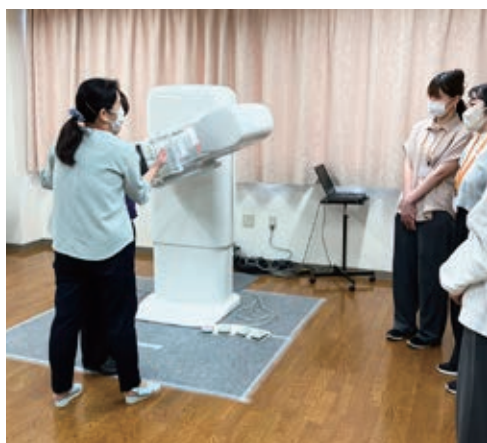
2025年5月10～11日

近森病院 乳腺センター センター長 杉本 健樹
兼 乳腺外科 部長
すぎもと たけき

2025年5月10～11日、近森病院附属看護学校をお借りし、乳腺センターの主催で、高知県および検診マンモグラフィの読影・撮影資格を認定する乳がん検診精度管理中央機構（精中機構）の共催を得て、診療放射線技師を対象に高知マンモグラフィ技術講習会を開催しました。

受講生は35名で合格率は76%と非常に高く、半数以上が講師資格となるA評価を得ました。招聘した精中機構の技術委員5名が正講師として講義・実習を行うと同時に、県内（当院も2名参加）から招集した準講師に撮影技術や教育法を啓発し、県内の診療放射線技師の技術力・指導力の底上げに寄与しました。

看護学校・当院のスタッフの皆様の協力でスムーズな運営ができ、実習班を少人数にできたこともあり受講生にも大変好評でした。



マンモグラフィを会場に持ち込み実技指導。



読影の様子。



2日目、成績証が手渡され、合格率は76%と好成績。

講演会

高知医療再生機構補助金講演会『敗血症診療ガイドライン2024 ～臨床現場への適用～』

京都大学大学院医学研究科・
侵襲反応制御医学講座・
麻酔科学分野 教授

江木 盛時先生

えぎ もりとき

〈2025年5月29日〉



前列左から、座長の近森病院 杉本副院長（兼麻酔科部長）、講師の江木教授、近森会 入江理事長、森田理事（兼近森病院顧問）



薬剤タワー並びに空中通路

起工式

2025年6月6日

社会医療法人近森会 理事長 入江 博之 いりえ ひろゆき

新築する薬剤タワー並びに空中通路の工事本体および関係者の安全を祈願する起工式が6月6日にとりおこなわれました。旧立体駐車タワーの取り壊しと整地が済み、日本銀行社宅土地の一部を使用させていただき、非常発電用重油タンクの移設工事も無事終了しました。

これからいよいよタワー及び空中通路の本体工事にかかります。

工事を担当してくださる大旺新洋株式会社の小西社長以下のスタッフにお世話いただき、式は高知八幡宮 別役宮司により無事執り行われました。また、この起工式の模様並びにクラウドファンディングに関して、NHK高知支局が撮影取材してくださって、当日のお昼から翌日の朝にかけて地元ニュース番組で流していただきました。

工事が無事に終了するように祈念しております。



取材を受ける入江理事長

2025年							2026年						
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
基礎工事							鉄骨工事	躯体工事 ※1	薬剤タワーと本館、 薬剤タワーと空中通路の接続	仕上げ ※2			
※1…建物を支える柱、梁、床、屋根などの骨組を作る工事。 ※2…内装・外装工事、給排水設備や空調設備、電気設備、外構工事など、建物が使えるように仕上げていく工事。													
工事スケジュール							完成						

※1…建物を支える柱、梁、床、屋根などの骨組を作る工事。
※2…内装・外装工事、給排水設備や空調設備、電気設備、外構工事など、建物が使えるように仕上げていく工事。

論文掲載

臨床研究成果が学術誌に掲載されました

近森病院 消化器外科 主任部長 兼 地域医療連携センター長 塚田 暁 つかだ あきら

Impact Factor
3.0

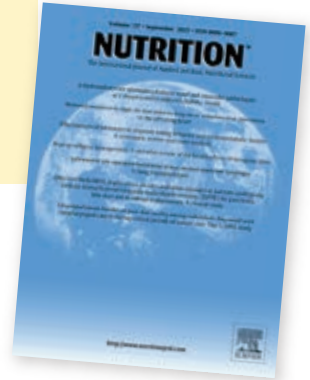
論文名

Effects of Nichi BRITE β -glucans as an onco-nutrition adjuvant in patients undergoing subtotal stomach-preserving pancreaticoduodenectomy (SSPPD) for pancreatic, bile duct and duodenal malignancies: A clinical study
(膵がん、胆道がん、十二指腸がんに対して亜全胃温存膵頭十二指腸切除術を施行した患者の術後にβ-グルカン製剤「Nichi BRITE」を摂取した影響)

掲載誌

Nutrition

閲覧はこちらから →



2019年より3年間にわたって行っていた臨床研究の成果が、このたび国際栄養学術誌「Nutrition」に掲載されました。

本研究は、近森相談役と、前栄養部長である宮澤部長（現・東京医科大学病院 栄養管理科 科長）が、高知県の企業である株式会社ソフィと共同で計画されたものです。消化器外科での実施を打診され、当科にて取り組むこととなりました。

研究の対象は、胆道・膵臓の悪性腫瘍に対して亜全胃温存膵頭十二指腸切除術（SSPPD）を受けた患者さんです。術前から術後にかけて、ソフィが製造するAureobasidium pullulans（黒酵母）由来のβ-グルカン製剤「Nichi BRITE」を内服していただき、その免疫状態や再発予防への効果を評価しました。

その結果、Nichi BRITEを内服した群では、免疫強化に関与する

サイトカインの増加、腫瘍マーカーCA19-9の有意な低下、さらにがん幹細胞の指標とされるCD44の減少など、悪性腫瘍に対する有効性が示されました。再発率はNichi BRITE群が50%、プラセボ群の71.4%に比べて良好で、無再発生存期間（DFS）も16.1か月 vs. 12.4か月と優れた結果が得られました。

これらの成果を、今後の臨床に生かしていきたいと考えております。

本研究は、栄養部の宮島部長、内山副部長、田部主任をはじめ、8A病棟・ICUの看護師の皆さん、消化器外科医局員など、多くの方々のご協力により遂行することができました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

学会受賞

ダブル受賞

初期研修医 2年目
秋澤 麗菜 あきさわ れいな



第132回 日本内科学会四国地方会
研修医奨励賞 受賞

演題 労作時に胸痛と失神を呈した被典型的な冠攣縮性狭心症の1例

第123回 日本消化器病学会四国支部例会
四国支部研修医奨励賞 受賞

演題 慢性収縮性心膜炎により蛋白漏出性胃腸症をきたし心膜剝離術にて改善した肝硬変の1例



初期研修医 2年目
大東 雄太 おおひがし ゆうた

第134回
日本消化器内視鏡学会四国支部例会
研修医・専攻医
優秀演題賞 受賞

演題

術後再建腸管の胆管結石症例に対して超音波内視鏡下順行性治療により結石除去を行った1例



出張

Aortic Forum

〈2025年6月16～20日／チェコ・プラハ〉

大動脈フォーラム参加
及びホモルケ病院訪問

社会医療法人近森会 理事長 入江 博之 いりえ ひろゆき

2025年6月にチェコのプラハを訪問しました。目的はヨーロッパ胸部心臓血管外科学会が主催する「Aortic Forum」という会合に参加するためです。

ヨーロッパは米国や日本と違い、CEマークを取得すると、新しい手術用品などが世界より一足早く使用できます。そういった情報を収集するのが主な目的でした。

学会自体は、大動脈弁、大動脈に関する講演やシンポジウムが1つの会場で開かれました。今回特に面白いと思ったことは、大動脈のみを手術する心臓血管外科医へのトップ5おすすめ、大動脈だけを専門とするわけではない心臓血管外科医へのトップ5のおすすめというプレゼンテーションでした。

先進的なカテーテル治療の現場を訪ねて

学会直前にプラハ郊外にあるホモルケ病院(Na Homolce Hospital)を、京都大学心臓血管外科の湊谷謙司教授と2人で見学させていただきました。この病院には、今春当院をお訪ねくださった^{みなとや けんじ}船迫宴福先生がすでに7年間勤務しておられます。^{ふなさこ もりとし}不整脈のカテーテル治療(アブレーション)で世界的に有名な病院で、その件数は年間1,800件と群を抜いており、日本で頑張っている近森病院でも500件程度です。

圧倒的な件数の理由の一つが、米国の有名大学との緊密な関係により、動物実験が終わったばかりの新しい器具をすぐに患者さんに応用できる点にありました。また、チェコはヨーロッパの中でも医療用品の審査がさらに緩く、このため世界初の人体使用が可能であり、それを求めて各地から患者さんが集まってくるとのことでした。

女性冒険旅行作家との再会

今回嬉しかったことは、6年前に高知市内のパブで偶然知り合った、冒険旅行作家ドミニカ・ガウリチコバさんと再会できたことです。当時彼女は20代半ばでスーパーカブに乗り、日本を単身縦断旅行していました。たまたま高知に寄った際に、チェコのビールを飲んでいて我々を見つけ、嬉しそうに近づいて話しかけてくれました。

今回の再会では、プラハで人気の「カフェ・ルーブル」に案内してもらい、チェコ伝統料理を一緒にいただきました。もともとわずか1時間しか会ったことがなかった方と友人になれたことは、大変幸運でした。



1



2



3

【写真】1. ホモルケ病院で、船迫宴福先生と。 2. 大動脈フォーラム会場で、京都大学心臓血管外科 湊谷謙司教授と。 3. 6年前に高知で出会った冒険旅行作家ドミニカ・ガウリチコバさんと、チェコ伝統料理でランチ。7か月にわたるスーパーカブでの日本縦断旅行記を出版されていました。途中で全国ニュースにも出演。



四国で唯一の開催病院

FIM講習会 in 土佐

開催報告

2025年6月7日



近森リハビリテーション病院 院長
和田 恵美子 わだ えみこ



前列左から4人目、川崎医療福祉大学・椿原彰夫先生

近森リハビリテーション病院では、医療の質を高める「+Qualityプロジェクト」に取り組んでいます。継続して実施しているADL評価法・FIM(※)の講習会は、四国で唯一の開催病院として、毎回講師を入れ替えながら、院内のFIMエキスパート育成にも努めています。今年も全国から基礎編93名、応用編15名が参加し、基礎編12回、応用編8回と開催を重ねることができました。新たな講師陣は、問題作成や院内研修の実施など、1年かけて実践練習を積み、当日は質疑応答にも堂々に対応できる立派なFIMエキスパートに成長しました。

今回は6年ぶりに川崎医療福祉大学・椿原彰夫先生をお迎えし、改訂内容の確認も行いました。ご好評のFIM早見表も改訂予定です。今後も「+Qualityプロジェクト」にご注目ください！

※Functional Independence Measure (機能的自立度評価法)の略語。令和6年度診療報酬改定より一部の回復期リハビリテーション病棟でFIMの測定に関する研修の実施が施設基準となりました。

近森会グループ看護部
マスコットキャラクター
モリンちゃん



すまいる♥ナース通信 # 認定看護師

認知症も人生の一部だからこそ寄り添いたい



近森病院 6階A病棟／認知症看護認定看護師

太田 和弥 おおた かずや

認知症になっても、その人の人生は続いていきます。これまで歩んできた物語を大切にしながら、今をどう安心して過ごしていただくか。そんな視点で看護に取り組んでいます。

この度、認知症看護認定看護師となりました太田和弥です。普段は6階A病棟で勤務し、毎週火曜日に活動日をいただき、病棟内外での活動を開始しています。認知症の方やご家族への対応、ケア方法など困った際には、ぜひご相談ください。

また、緩和ケア委員会の委員として“その人らしさ”を支える看護の視点も大切にしています。

最終的には、自分が認知症になっても幸せに暮らせる社会づくりを目標に、今後も活動していきます。どうぞよろしくお願いします。



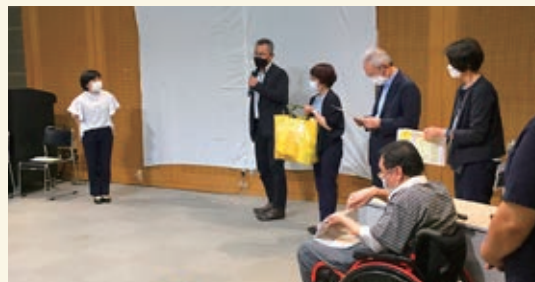
▲利用者さんが作った実際の作品を手にする参加者。



■ 優秀演題

※ウェーブ…しごと・生活サポートセンターウェーブ
※ハビリ…高知ハビリテーリングセンター

演 目	事業名
数字から見える成果 ～②その分析～	ウェーブ
新しい風が運んだ新しい支援 ～ここから始まる新たなページ～	生活訓練(ハビリ)
音楽の力でコミュニケーションを変える♪ 音楽療法を開始して♪	機能訓練(ハビリ)
2024年度はるのハビリホーム	はるのハビリホーム(ハビリ)



4名のプレゼンター、ファミーユ高知 近森理事長、高知県立大学健康長寿センター 森下様、テクノクラフト高知 北岡様、石原産業 一圓様より、それぞれ表彰がありました。



ファミーユ高知 成果発表会 開催によせて ～高知ハビリテーリングセンターの「実」の報告～

ファミーユ高知 高知ハビリテーリングセンター センター長 西岡 由江 にしかか よしえ

2024年度の高知ハビリテーリングセンターを表す漢字は「実」です。「実り」「実績」「充実」の3つの意味を込めています。センター長として取り組んできた支援力の強化、事業改革、経営戦略などが実を結び、手応えある1年となりました。特に高次脳機能障害者

支援への専門性が報酬改定で評価され、大きな実績につながりました。また、「誰かの人生について本気で考え・行動できる職員像」を掲げ、日々の学びと実践を重ねてきた結果、利用者さんの回復に貢献し、その喜びを共有する体験が職員自身の充実感ややりがいにも

実

つながっています。

6月28日に開催した第5回「支援の可視化プロジェクト成果発表会」では、数値に表しづらい支援の成果を、職員の言葉や発表を通して可視化しました。日々の支援に自信と誇りをもって取り組む姿勢が、職場の風土として定着してきたと感じています。その積み重ねが離職率7.2%という低下にも現れており、特に2022年度以降に採用された職員の3年以内離職率は6.6%となりました。人が育ち、働き続けられる職場づくりが、確かな形となって現れてきたことを嬉しく思います。

今後、少子高齢化や福祉人材の確保が大きな社会課題となる中、私たちは福祉専門職としての価値を高め続け、誰かの人生に本気で寄り添う存在であり続けたいと強く思っています。



近森会グループ 災害対策！

近森会グループでは、各施設・部署で災害時に備えた取り組みを進めています。それぞれの現場の工夫を紹介することで、他部署の参考や、個人の備えを見直すきっかけになれば幸いです。



テーマ
1

トイレが使えない、それが一番困る ～近森病院の災害用トイレに迫る～

【第1回】災害用トイレはどこに??



近森病院 ICU病棟
看護師 主任／
災害ワーキンググループ
齋坂 美賀子 さいさか みかこ

大地震の際には、上下水道の破損が起こり、水洗トイレが流せないため、使用できなくなります。

皆さんは、災害用トイレを目にしたことはありますか？

近森病院では、災害により電気・水道が使用できなくなった際にもトイレに困らないよう、**災害用トイレ（マイルット）を1人5～6回/日使用と仮定し、約2日分を、各部署にあるベンチタイプの収納ボックスに、その他の防災用品と一緒に常備しています。**また、部署以外にもA棟9階の倉庫にマイルットとラップボン（自動で排泄袋を密閉包装するタイプ）を保管しています。

来る災害に備え、それぞれの部署で、災害用トイレの準備状況を確認してみてください。

● 次回は、災害トイレの使い方をご紹介します！

例

ICUの
災害ベンチ



災害用トイレ
（マイルット）は
ベンチ内に
入っています



看護学校通信

地域・在宅看護論実習Iを終えて

近森病院附属看護学校 1年生 神原 蓮 かんばら れん

実習期間／2025年6月4・5日

1 年生48名は、高知県内の11施設に分かれて、「人々が暮らしている地域や多様な生活について知る」という目的で、初めての实習に行きました。当日は抜けるような青空の下、地域でのフィールドワークを実施し、住民の方々と触れ合いました。

私たち4名は『グループホーム グリーンはうす』で実習しました。実習を通して、「報・連・相」の重要性や、感じたことを共有することで、チーム全体でより良いケアができると実感しました。「一緒に行く」「寄り添う」関わりが入所者さんの変化につながると感じ、この経験を今後に生かしていきたいと思います。



右が筆者。実習に行った同級生と。

近森で、学ぼう。

OPEN CAMPUS

2025

8/24 SUN 日

詳細は [近森看護学校](#) で検索、
または右のQRコードより公式ホーム
ページをご確認ください。社会人や
保護者の方の参加も大歓迎です。





口内炎への対処法

前回取り上げた味覚異常の次に多い相談は、「口内炎」についてです。

抗がん剤使用中の口内炎発症頻度は30～40%程度といわれています。口内炎は乾燥で悪化することがあるため、注意しましょう。1日の食事には約1,000mLの水分が含まれており、痛みで食欲が落ちると、食事から得られる水分量が少なくなります。水分が不足すると唾液が出にくく、口が乾燥しやすくなるため、水分を意識的に摂取することが大切です。この際、果汁を含む飲料など酸味のあるものは避け、スポーツ飲料や経口補水液など、少し塩分を含んだものがお勧めです。

また、食事前に0.9%の塩水（水コップ1杯に塩2つまみ）を使うと、食事の際の痛みが軽減されることがあります。

食事の内容は、温度の高い料理や酸味・塩味の強い料理よりも、柔らかく口当たりのよいものにしましょう。たんぱく質が大切なので、卵豆腐や茶碗蒸し、アイス・プリン等の卵・乳製品がお勧めですが、食べやすさを優先し、麺類やお粥、チョコレートやココアなどの甘いものでも構いません。まずはエネルギーをしっかり摂取するようにしましょう。



お勧め

①意識的な水分摂取



②塩水でうがい



③柔らかく口当たりのよい食事

卵豆腐や茶碗蒸し、
アイス・プリン等の
卵・乳製品



これなら、
たんぱく質も
摂取できる!



麺類やお粥、
チョコレートや
ココア



手軽で
食べやすいもので、
エネルギーを摂取
することが大切。

ありがとう
ございました!

献血

6月24日

結果

- 協力者(受付者数) 46名
- うち400mL献血が
できた方 43名



献血推進キャラクター けんけつちゃん

次回は10月頃の予定です。
ご協力よろしくお願いいたします!



7月11日、けんけつちゃんが近森病院にやってきて、輸血が治療の現場でどの様に使われているかなど取材していただきました。こちらの様子は、高知県赤十字血液センター様、当院のInstagramでそれぞれ掲載予定です!

募集中!



3,000とおりの誇れる仕事

詳しくは、近森会
グループHPの
採用ページを
ご覧ください。



募集職種

- 医師
- 言語聴覚士
- 看護師
- 薬剤師
- 介護福祉士
- 診療放射線技師
- 救急救命士
- 臨床検査技師
- 理学療法士
- 事務
- 作業療法士

熱烈応援 昇格人事

近森、わっしょい!

看護人事部 副部長 仲野 栄

なかの さかえ

私は、1985年から2002年まで近森会で働いていました。ちょうど、初代と2代目の理事長が交代された直後で、まだ若い近森正幸前理事長(現・相談役)が重責を担いながらも、病院経営で新たな挑戦を始められた時期でした。以後、私が働いていた17年間は、近森相談役を先頭に、若い管理職たちが「わっしょい!わっしょい!」と駆け抜けた時代でした。今回、私が配属された看護人事部には、当時を知る方々が所属していて「大変だったけど楽しかったねー」と近森会の昔話で盛り上がることもあります。

あれから23年。時代は変わり、コロナという医療現場に大きな影響をもたらした出来事を乗り越えた今、「病む人の回復を支援する」という重要な仕事に取り組む看護職の皆さんを支援するのが、今回、私に与えられた使命です。大変な仕事だからこそ楽しくやるのが大事だと私は思っています。それができるのが近森会です。



ハッスル研修医

日々全力で

初期研修医 1年目 大西 里実

おおにし さとみ

自然豊かで美味しいご飯が楽しめる高知県に魅力を感じ、早くも7年目になりました。まだまだ慣れない中で、上級医の先生方やメディカルの方々、先輩、同期に支えられながら充実した研修をさせていただいております。

循環器内科から始まった研修では、患者さんの全身状態だけでなく、生活背景なども理解しながら診療を行うことの重要性を学びました。学生時代に習ってきたことでは対応できないことも多く、実際の現場で積極的に学んでいくことが必要だと日々痛感しています。

常に学ぶ姿勢を持ち、医療従事者としてだけでなく人間としても成長したいと考えています。これからも何卒よろしくお願いします。



New face

ニューフェイス

- ① 所属
- ② 出身地
- ③ 最終出身校
- ④ 卒業年次
- ⑤ 趣味など

2024年9月号～2025年7月号
「アメリカ臨床留学レポート」を執筆!
お帰りなさい!

吉田 剛

よしだ たけし

- ① リウマチ・膠原病内科／総合内科医師

- ② 鳥取県鳥取市
- ③ 鳥取大学医学部医学科
- ④ 2007年
- ⑤ 1年ぶりに帰ってきました。忙しい毎日でも、皆さんと楽しく仕事することを大切にしていきたいと思います。



第3回 インドネシア人スタッフさん 入職セレモニー



2025年7月4日

インドネシアからの特定技能外国人9名が入職され、頼もしい仲間が増えました!これから一定期間の研修を経て、近森病院各部署で看護補助者として勤務の予定。

同国からのスタッフは総勢30名となりました。



前列中央左側から、岡本統括看護部長、入江理事長、近森相談役、寺田管理部長、先輩スタッフと一緒に記念撮影!



リレーエッセイ

少年野球

近森リハビリテーション病院
リハビリテーション部 理学療法士
主任 **西森 知佐** にしもり ちさ



最近、仕事以外にもう一つ全力投球していることがあります。それは、息子の少年野球です。休日はもちろん平日も送迎や応援、チームのお手伝いなど、すっかり“どっぷり”の毎日です。気づけばグラウンドが、もう一つの居場所になっています。

スコアブックのつけ方も勉強中で、「6-4-3って何の暗号!？」状態から少しずつ理解が進んでいます(笑)。まだまだ奥が深く、野球の世界に魅了されています。

先日は高知県大会で見事3位入賞!子どもたちの頑張りに感動し、涙が出そうになりました。仕事では理学療法士として日々患者さんと向き合いながら、プライベートでも母として全力疾走中。多忙でも、充実した毎日を楽しんでいます。



私の趣味



舞の華、咲く刻

近森病院 7階A病棟
看護師

町田 菜々子

まちだ ななこ

「趣味は?」と聞かれたら、「よさこいを踊ること」と答えます。

小学4年生の時に友達のよさこいを見に行ってから、大好きになりました。YouTubeで色々な踊りを見ては、真似て踊ったりしながら、次の年を待ちました。翌年、いざ踊ろうとしたらすでに募集が終わっており、また1年お預け状態。念願が叶って6年生でよさこい祭りに参加できたときは、嬉しくてたまりませんでした。

母に練習会場まで送り迎えをしてもらい、ウキウキと練習に参加していた記憶があります。本番では人前で踊ることに緊張しましたが、とにかく楽しかったです!

私が踊り続けられるのは、家族の理解あってこそ。そして、よさこい祭りに出場する私のシフトを調整し、協力・応援をして

くれる病棟のみんなのおかげだと感謝しています。



まるまる
FREE 私の〇〇

〇〇にフリーワードを入れて
語っていただきました

私の「絵」

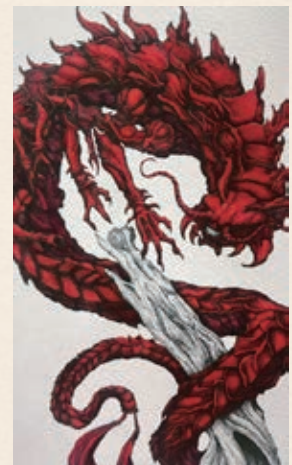
近森病院 北館5・6階病棟 看護師
江口 桂介 えぐち けいすけ



私は小さい頃から絵を描くことが好きで、休日は絵を描いて過ごすことが多いです。何も考えず絵を描いている時が至福の時間です。

情報収集をしたり、自分の絵をもっとたくさんの人に見てもらうためSNSも少し活用しています。たくさんコメントを頂いた時はとても嬉しくなり、自分のモチベーションにも繋がってます。SNSで絵を描いて欲しいと連絡してくださる人もいて、作成期限日間近になると朝から晩まで絵を描く日もあります。

最近、世界規模で行われている日本主催のコンテストにエント



「人の心にぶっ刺さる」というコンセプトを持ち、いろんなデザイン・モチーフを描いています。大体1作品に1〜2か月かかっています。

リーしました。賞が頂けると嬉しいです。描き続けて一番良かったことは、他の分野で頑張っている人との交流や出会いができたことです。絵を描くことは、自分の唯一の特技です!



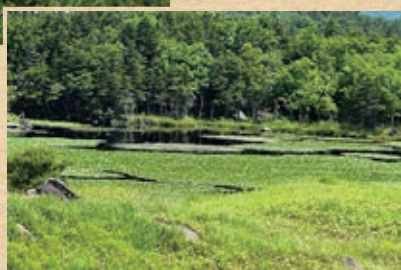
世界自然遺産 知床

しれとこ



▲ 知床連山

◀ 小清水原生花園
左前方が濤沸湖(とうふつこ)、右前方がオホーツク海。

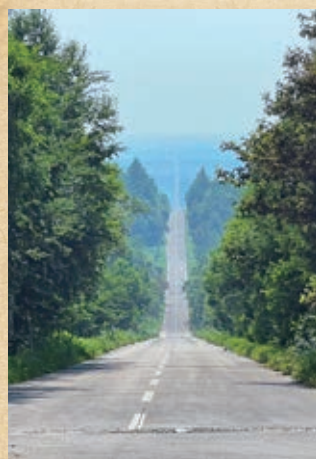


▶ 知床五湖
ヒグマ防止の電気柵を張っている高架木道で巡ります。

羽田空港から^{めまんべつ}女満別空港に飛び、^{しゃりちょう}斜里町から知床五湖、知床峠を越えて^{らうす}羅臼までぶらり行ってきました。旅をした2023年7月下旬は^{どうとう}道東でも記録的な暑さで、現地のガイドさんも自宅にエアコンをつけようと考えていました。

ちなみに、北海道では主要都市の間にしか高速道路が整備されていませんが、なぜでしょうか。

(答えは9ページの下)



▲ 知床斜里町
天に続く道、28.1km。

▼ オシンコシンの滝



今年は、インドネシア人スタッフさんも参加で、奮闘中!

※「よさこいちかもり」の題字は中嶋医師が揮毫しました。

編集室通信

高知の夏といえば、やっぱりよさこい祭り! 今年もよさこいチーム「ちかもり」が元気いっぱい参加します。インドネシアから来ているスタッフも初めて踊り子として一緒に踊りますよ。私はさすがに踊れません、スタッフとしてチームに関わり、高知の夏を楽しみたいと思います。暑さに負けず、心をひとつに、この夏を盛り上げていきます! 充

診療数 2025年6月

—— 電子カルテ管理課 ——

● 近森会グループ

外来患者数 16,996人
新入院患者数 1,109人
退院患者数 1,090人

● 近森病院(急性期)

平均在院日数 11.38日
地域医療支援病院 紹介率 102.31%
地域医療支援病院 逆紹介率 306.38%
救急車搬入件数 584件
うち入院件数 324件
手術件数 572件
うち手術室実施 333件
うち全身麻酔件数 239件

岡田 葵

Aoi Okada

近森病院 医療福祉部
ソーシャルワーカー

聞き手／ひろっぱ編集部

「やってみない？」は
成長への扉
一歩ずつ
挑戦を続けたい



断る理由がない

「私は、自分から、あれこれやりたいというタイプではなく、勧められたり、誘われたりしたことを『断る理由もないし、やってみるか』とやってきた人です」と自己紹介。

高校の先生に勧められ福祉の職に興味を沸き、先生の薦めで大学に進学。さらに教授の推薦で近森への就職を引き寄せた。今は、病院でのソーシャルワーカーが自分に合っていると、充実した日々を過ごしている。

上司である医療福祉部の西本部長は「人怖じせず、人が好きなのが伝わる。一緒に働く人たちからも愛される存在」と、このルポに推してくれた。おしゃべりもけっして嫌いではない岡田さんに話を聞いた。

愛される理由

岡田さんの出身は雲の上の町・梶原町。高校まで過ごした梶原町での思い出いっぱい。中学校ではオーストラリア、高校ではリトアニアへの短期留学も経験。ほかにも、梶原町にきた観光客をおもてなししたり、第1回脱藩マラソンの司会をしたり。それら全ては、「やってみるか?」という声に応じたからこそできた経験であるというから、かなりラッキーな性分だろう。そんな風に身をゆだ



ねられる岡田さんの素直さがどこからきたのか。プライベートな部分をさらに聞いていく。

飲み会メンバーは家族

岡田さんは現在高知市で一人暮らしだが、梶原町に住む両親と姉（岡田さんと同じくソーシャルワーカー）が高知市に来ることが多い。家族でよく居酒屋に行くそう。「父が、美味しい魚を食べたがるんで居酒屋が一番。家族と飲むと1、2杯で酔いがまわっちゃいます。みんな巨人ファンなので、それについても喧々諤々と盛り上がります。私にとって家族は良き相談相手であり安心できる存在なんです」と。この9月には巨人戦の応援旅行を計画しているとか。きっと子どもの頃から、家族でたくさん会話を交わし成長してきたのだろう。岡田さんの愛される理由は、この家族がベースになっていることがよく伝わってきた。

挑戦の夏

誘われたらあまり断らないキャラクターゆえ、この8月もとびきり忙しいと笑う。まずは10年ぶりによさこい（チームちかもり）に参加。さらに、8月24日に開催される日本医療マネジメント学会での発表も控える。「学会発表も、上司から声をかけてもらえて、参加を決めました。せっかくのお声がけなんで」と張り切る。「しかも、ひろっぱ8月号の人物ルポ（当ページ）でも紹介されるし、あ!8月は

趣味の一つが、大学時代の友人と参加する、ハンドメイドワーク体験。キャンドル、グラスや器、機織り、タイルワークなど。お部屋にはハンドメイドコレクションが並ぶ。

誕生日もあるので30歳にもなるし…。ひえ～!」どうやら今年の8月は岡田さんにとって、特別な夏になりそうな予感。

ソーシャルワークの技術をコツコツと

「仕事では、派手なことではできないので、一つずつ、一つずつ丁寧にと言いつつ聞いています」と。「あと、患者さんのために動けるのは自分しかいないと思うこともあって。忙しいとか、難しいというマイナスの感情をエネルギーに変えたいと思っているんです」と、目の前の問題に正面から取り組むように努める。昨年度は近森会グループのハートセンターMVPを受賞。その時の思いを問うと、「“前向きに取り組んでいる”という評価コメントが特にうれしく、やってきてよかったなあ」と振り返った。

“一生懸命”の次のステップへ

一方で、「ソーシャルワークは、まだまだ」と自己分析。「患者さんやご家族と深く話ができる先輩、状況理解が的確な後輩など、周りのワーカーから見習いたいところがたくさんあって、それを一つずつできるようになりたい」と目標を立てる。「でも後輩も増えたと、自分の役割や立ち位置も把握している賢明さも持ち合わせている。

大きな野望はない。しかし、目の前には、小さな目標がたくさん。一つずつ、一歩ずつ。その努力する姿が、周りの方からの応援を誘うことができる彼女の魅力なのだろう。

